

みしま野

梅林寺本堂

梅林寺は茨木神社の東側約 50m 位の位置にあり、茨木神社と共に茨木市内旧市街地の中心に位置している。創建年代については詳らかではないが、平安時代中期に源頼義の勅願所として真言宗の寺院として建てられ、大永元年（1521 年）に浄土宗寺院として中興されたと聞く。当寺院には戦国武将・中川清秀の墓所やその中川氏に宛てた豊臣秀吉（当時は羽



威風堂々とした屋根形状の梅林寺本堂

所在地：大阪府茨木市片桐町 1 番 3 号
当寺院は基本的に非公開。庭先の見学程度は許されるかも知れないので一度庫裏にて問い合わせを。
最寄駅：阪急茨木市駅下車 徒歩約 5 分 JR 茨木駅下車 徒歩約 15 分
TEL：072-622-6433

柴秀吉) の書状も残っている。寺院伽藍は本堂・庫裏・鐘楼・山門から構成されており、本堂と庫裏が正面玄関を同じ方向に向けて並存している。本堂は文化元年（1804 年）に創建されたものとされており、桁行 8 間・梁間 7 間、木造本瓦葺である。屋根は天平の薨を思わせる威風堂々とした形状で、文化年間に製作され、以前はその屋根に上がっていたとされる鯨鉾が現存しており、創建当初からの威容を偲ばせている。（神保 勲）